

放射線防護用品の開発工数に関する ヒヤリング結果について

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
小田 和幸

放射線防護用品の開発工数

- A社では、適切な眼鏡フレームを選定することが難度の高い課題であり、現時点で工数を見積もることは困難である。適したフレームを定めてから製品化までの工数は、1年程度が見込まれる。
- B社では、防護眼鏡を含むX線防護全般の開発が必要となる。基本的な工数として、市場調査等に1年、試作製作に1年、最終試作後の試用期間1年、合計約3年が見込まれる。

企業 (国内)	開発フェイズ	開発工数
A社	製品:眼鏡 <ul style="list-style-type: none"> • フレームの選択(既存のものからX線防護眼鏡として適切なものを選択) • レンズ部分の開発(上記フレームと組み合わせて最終製品化) 	未定※1 1年
	所要工数	フレーム決定後1年
B社	製品:X線防護用品全般 <ul style="list-style-type: none"> • 第1段階:市場調査及び共同研究先の選定、設計 • 第2段階:繰り返し行う試作及び評価 • 第3段階:最終試作後の試用期間 	1年 1年 1年
	所要工数	3年※2

※1 放射線防護眼鏡に適した諸条件を満たすフレームの期間を表明することは一般的に困難。

※2 製品開発を新たに行う場合の一般的な開発工程